

## 個人情報保護委員会（第285回）議事概要

- 1 日 時：令和6年5月22日（水）13：00～
- 2 場 所：個人情報保護委員会 委員会室
- 3 出席者：藤原委員長、小川委員、大島委員、浅井委員、清水委員、  
梶田委員、高村委員、小笠原委員  
松元事務局長、三原事務局次長、大槻審議官、  
森川総務課長、吉屋参事官、香月参事官、小嶋参事官、  
片岡参事官、澤田参事官

### 4 議事の概要

- (1) 議題1：LINE ヤフー株式会社への勧告等に対する改善状況の概要及び同社への対応方針について

事務局から、資料に基づき説明を行った。

清水委員から「当委員会は、3月28日に、LINE ヤフー株式会社（以下「LY社」という。）に対して、組織的安全管理措置及び技術的安全管理措置の不備を指摘し、必要な措置を採るよう勧告を行った。これに対して、LY社では、多要素認証の適用、ファイアウォールの設定といった技術的な措置を採り、今後、組織的な体制整備等を行う計画が立てられていることを確認することができた。

なお、LY社が提出した再発防止策に含まれるシステムの分離及び業務委託先の見直しといった対応は段階的に行われ、これらの完了は一定の期間を要するとされている。

当委員会としては、LY社が検討し選択したこれらの対応方針を尊重し、これらを確実に実行していただくことが重要と考え、引き続き、その手段や完了時期の適切性を含めて、改善状況について注視していきたい旨の発言があった。

小川委員から「本件はLINEにおいて、約52万人の個人データの漏えい等が生じたものである。LINEは事実上、日本において上位レベルのコミュニケーションインフラとなっており、公共サービスにおいても広く利用されている。

LY社によれば、現時点で、漏えい等した個人データが悪用されたという二次被害は確認されていないとのことだが、これは不幸中の幸いだと思う。重要度の高い個人データが大量に漏えいしたことに鑑み、LY社においては、確実に再発防止策を講ずるとともに、二次被害の発生の有無をモニタリングし、適時ユーザーに説明するなど、ユーザーの信頼回復に尽力してほしい旨の発言があった。

原案のとおり、決定することとなった。

なお、本議題については、事案の社会的な影響を勘案し、配布の公表資料

と当該資料に係る議事録、議事概要の部分を準備が整い次第公表し、それ以外の資料と当該資料に係る議事録、議事概要の部分については非公表とすることとなった。

以上